

「2017年9月9日キッズリーダー講習会 水戸桜ノ牧高校サッカー部」レポート

2017年9月9日に水戸桜ノ牧高校にてキッズリーダー講習会（U-6）をサッカー部の生徒を対象に実施致しました。このキッズリーダー講習会はキッズに関わる高校生以上を対象に行う講習会で、2016年も約400名の方に茨城県で受講して頂きました。今回は約80名の生徒に受講して頂きました。講習会では講義（90分）と実技（90分）の両方を行います。



人数が多いため、40人ずつを2グループに分けて、講義から行うグループと実技から行うグループとで分かれて講習会を実施しました。講義では、最初に受講者の方の緊張をなくすために「アイスブレイク」で他己紹介（パートナーを周りに紹介する）を行いました。『子どもの発育発達（脳の可塑性・発育発達曲線）』『スキヤモンの発達曲線』では、年代によって取得しやすい能力の違いを説明しました。『子ども達のサッカー』では年齢に応じたサッカーの特徴がみられることなどを伝えさせて頂きました。また、今後実施されるキッズフェスティバルに実際に子どもに接する機会があるということで、現場の部分で気を付けてほしいこと、子どもたちとの関わり方の部分も伝えさせて頂きました。



実技では受講者の方に『からだを動かす楽しさ』、『からだを動かす喜び』を感じて頂くことと『様々な動きを体験する』を目的にメニューを作成しました。

実技の最初は「爆弾ゲーム」を行いました。このメニューはチームに分かれて四角の外からボールを投げて当てるグループと四角の中で逃げるグループとに分かれて行うものです。高校生らしい面白い発想を持った逃げ方、かわし方を考えながらも楽しみながら行っているのが印象的でした。「ボールフィーリング」では1人で行うメニュー、2人組で行うメニューを体験していただきました。インストラクターから提示している物だけではなく、高校生が自ら考えてペアで披露しあいながら行いました。

続いて「1対1の競争」を行いました。このメニューでは1対1でお互いドリブルで先にあるコーンを回って先にゴールを決めて方が勝ちとなるものです。高校生も必死に勝ちにこだわりながら全力で取り組んでいました。

最後は「ゲーム」を行いました。真剣のなかにも楽しさもあり、みなさん全力で取り組んでもらえたと思います。



各グループ終了後、閉講式となりました。受講者の方1人1人に修了証のグリーンカードをお渡しし、全員で集合写真を撮影し講習会は終了しました。



主催者コメント；照沼 祐治（茨城県F Aユースダイレクター 水戸桜ノ牧高校サッカー部監督）

堀之内様をはじめ茨城県サッカー協会キッズ委員会の皆様、鹿島アントラーズF Cの皆さま、F C水戸ホーリーホックの皆様、本校サッカー部の選手のためにキッズリーダー講習会を開催していただき、ありがとうございました。

この講習会を通して、選手たちに感じてほしかったことが2つありました。1つ目は、サッカーが楽しいということです。本校性は文武両道をモットーに、学習とサッカーに打ち込んでいます。高校生になり、勉強の難易度が上がり授業に付いていくのがやつの生徒がたくさんいます。また体も大きくなり、サッカーのスピードやパワーが中学生の時と比べてとても速く強くなりました。本来楽しい気持ちをもって取り組んでいたサッカーがいつしか苦しくなっていた生徒もいます。苦しさから逃げるのではなく、苦しさに立ち向かうためにも、サッカー本来の楽しさを再確認することが大切だと思いました。世界基準を目指して育成強化していくことは重要ですが、サッカー本来の楽しさを思い出しさらに意欲的の今後の活動に取り組んでもらいたいとの思いがありました。

2つ目は視点を変えることです。常に教わる選手の立場から、自分が教える立場に変わることによって考えることがたくさん出てきます。指導者の立ち位置や、練習の組み立て方、コミュニケーションスキルや

言葉遣いなど、気付くことがたくさんあったと思います。サッカーを通して人間性を高めることを目的としています。今回のように視点を変えて考える活動は、選手一人ひとりの意識が変わり、今後の取り組みに変化が出てくると思っています。

また、サッカーに関わる人がたくさんいることを感じる事ができたと思います。いつものコーチではないことが、生徒の社会性を高めより良い大人へ成長させてくれると感じました。サッカーができることへの感謝の気持ちや、自分を支えてくれている親への感謝の気持ちをも持つことができたと思います。

お忙しい中、講義と実技の講習会を通して、選手指導者ともに学ぶことが多かった一日でした。ありがとうございました。今後は実際にキッズの子供たちと関わることができると、人間性の成長がさらに期待できると思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

参加者コメント

- 小さい子どもたちにサッカーを教える・一緒に楽しむということが自分の中でぼんやりしていたが、今回の講習で様々なことがはっきり見えた。
- 達成感・成功体験を感じさせることが重要だと感じた。目線を合わせたり、日の当たりかたなど細かいところまで気を配って接してあげることが大切だと思った。
- 指導者の方は、常に選手を思って行動していることを学び、改めて指導者の偉大さを学びました。子どもの接し方は簡単じゃない。でもこの体験を通して学べるものがたくさんあった。
- 久しぶりの心の底から笑って楽しくサッカーが出来た。弟の少年団に顔を出してみようと思った。
- あらためてサッカーは楽しくやるものだと思った。この講習で学んだことをいかして子どもに接していきたいと思います。
- いかに子どもたちの意欲を引出し、飽きさせないようにすることが大事だと思った。サッカーの本質を再確認できた。

講師コメント；北村 悠貴（茨城県キッズリーダーインストラクター／鹿島アントラーズスクールコーチ）

今回、水戸桜ノ牧高校サッカー部の生徒を対象に実施させていただきました。講義ではキッズフェスティバルに向けての実践的な話を中心にキッズ年代の子供の特徴を話させていただき、また、実技ではキッズフェスティバルのメニューに即した方法で進めました。講義でも積極的に発言する生徒も多く、内容もさらに深まったものになったと思います。また実技でも、真剣さのなかに楽しさを持って取り組んでくれていました。今後、この中から将来的にキッズ年代の指導者が出てきてくれれば幸いです。今回このような場をご提供いただきました照沼先生、ありがとうございました。

以上